
「アウトリーチ活動としての RRS カンファレンスの実態調査研究」に関するお知らせ

このたび、当院で院内救急対応システム(Rapid Response System、以下 RRS)要請が行われた患者さんの情報や、その後の振り返り(カンファレンス)の記録と関連する診療録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日の期間に、当院において RRS が起動された患者さん、および、その事案に関して実施された「RRS カンファレンス」の記録を対象としています。

2. 研究の目的

RRS 要請後に行われた振り返り(カンファレンス)の記録を分析し、現場のスタッフがどのような迷いや困難を感じているかを明らかにします。この結果を、よりスムーズな RRS 要請・対応のための教育や体制づくりに役立て、病院全体の安全性を高めることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～ 2029 年 04 月 30 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 07 月 2 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの情報：性別、年齢、病名、既往歴、受けた治療内容、ICU への入室状況など

カンファレンスの記録：振り返り(カンファレンス)の場で語られた内容(テキストデータ)、参加者の職種や人数など

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である程島 健太が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 情報の取得方法

研究対象期間中の病院の記録(診療録等)や既存の RRS カンファレンス記録を使用します。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学総合医療センター 救命棟 2 階 GICU 程島 健太（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

【連絡・相談窓口】

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地 埼玉医科大学総合医療センター

担当者：救命棟 2 階 GICU・看護師 程島 健太

電話：049-228-3526（平日 8 時 30 分～17 時 30 分）

○研究課題名：アウトリーチ活動としての RRS カンファレンスの実態調査研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 救命棟 2 階 GICU 程島 健太